



三洋電機株式会社 様

導入機種 → PJP-25UR/約200台、PJP-50USB/10台、PJP-100UH/5台

導入時期 → 2008年2月より本格導入開始

基本構成 → リアルタイムコミュニケーションを実現するGIMサービスの
マイクスピーカーとしてPJP-25URを採用

会社概要

設立 1950年4月(創業:1947年2月)
 資本金 3,222億4200万円(2010年3月31日現在)
 本社所在地 大阪府守口市京阪本通2-5-5
 従業員数 9,504名 連結:104,882名(2010年3月31日現在)
 連結売上高 1兆5,946億4000万円(2010年3月期)
 関連会社 [国内]連結子会社51社 持分法適用会社23社 計74社
 [海外]連結子会社106社 持分法適用会社26社 計132社
 URL <http://jp.sanyo.com/>

統合型コミュニケーションサービス

Web会議用マイクスピーカー

「GIMサービス」と「PJP-25UR」の連携により、 コスト削減とコミュニケーション革新を実現!

PJP導入の背景

出張費削減と業務スタイル革新を
目的とした「GIMサービス」を導入。

- 既存のビデオ会議は高コスト
- 多彩な機能による業務革新も狙い
- 音声面ではPJP-25URを選定

三洋電機様では2008年2月、社内LAN上で複数ユーザーが同時にWeb会議を行えるGIM(Global Instant Message)サービスの本格導入を開始しました。GIMサービスは社内のリアルタイムコミュニケーションを実現する統合型サービスで、在席確認、インスタントメッセージ、Web会議、資料共有など多彩な機能もっています。同社では以前から専用機によるビデオ会議システムを主要拠点に設置していましたが、導入の初期費用が高額で、しかも会議のたびに専用回線による通信費が課金されるという課題を抱えていました。GIMサービスはこの課題を解決するとともに、出張に関わる時間と経費の削減、業務コミュニケーションの深化・革新という目的を実現するための切り札として導入。そしてその会議用マイクスピーカーとして、ヤマハのPJP-25URが選定されました。

PJPを選じた理由

同社が設定したいくつもの要件を
すべてクリアしたヤマハのPJP-25UR。

- 誰もが簡単に使える操作性の良さ
- USBによるパソコンとの容易な接続
- 円滑な会議を実現する音質の良さ

同社はGIMサービス用のマイクスピーカーを選定する際、複数メーカーの機種を3つの要件から検討しました。まず操作が簡単で、誰もが直感的にすぐに使えること。次にパソコンとの接続が容易なこと。そして音声の品質が良いことでした。価格面では、同社の主要拠点である大阪・東京間の2往復分の交通費が目安とされました。GIMサービスは同社の極めて戦略的な取り組みであり、これらを満たすことが絶対的な条件となっていたのです。ヤマハのPJP-25URはこうした要件をすべてクリア。GIMサービスの本格展開が始まった2008年2月以降、約200台がグループ会社を含む全社へ導入されています。PJP-25URはユーザーからも好評。「とても使いやすい。あたかも隣のブースにいる人と話しているような臨場感がある」と高く評価され、定着しています。

PJP導入の成果

業務コミュニケーションの革新で
同社のワークスタイルにも変化が。

- ユーザー数と使用頻度は急増
- 出張経費の大幅な削減を達成
- 海外拠点とも頻繁に会議を開催

2008年2月の本格展開以来、PJP-25URをマイクスピーカーとしたGIMサービスは、順調に社内に浸透しています。2010年4月現在、ユーザー数は1,600を超え(部署単位ユーザーを含む)、平均1時間のWeb会議が1日平均約450回行われるまでになりました。当初の目論みどおり、出張費は大幅に削減され、業務コミュニケーションにも変化が現れています。拠点間のコミュニケーション機会は確実に増え、PJP-25URを使った気軽な打ち合わせや会議が社内のあちこちで開催。特に従来は電話とメールで行われていた海外拠点とのコミュニケーションは、音声と画像、また資料共有機能を使ったWeb会議により、非常に密度の濃いものとなっています。GIMサービスとPJP-25URは同社にとって、コスト削減とコミュニケーション活性化の大きなツールとなっているのです。

ご購入いただいた主な機種

PJP-25UR

希望小売価格:63,000円(本体価格 60,000円)
 JANコード:49 60693 23383 2

小型で軽量、動くマイクアームでシチュエーション様々。
 高音質で操作性抜群のWeb会議用マイクスピーカー!



MS社の「Office Communication Server 2007」の機能に、PJP-25URをマイクスピーカーとして連携。全社的な統合型コミュニケーションを実現します。

お客様の声

PJP-25URの音質の良さに、選定メンバーから驚きの声。接続の容易性や直感的な操作性など、当社の要件をすべて満たしていました。

当社では2007年頃からコスト革新とワークスタイル革新という2つのプロジェクトが設置され、そのコミュニケーション分野の解決策としてGIMサービスを導入しました。マイクスピーカーの選定では複数メーカーの機種を検討したのですが、PJP-25URをはじめて使った時、「おっ、これは品質が違うぞ!」という驚きの声が上がったのを覚えています。パソコンとの接続の容易性や、直感的な操作性もさることながら、その音声品質の素晴らしさを高く評価しました。GIMサービスとPJP-25URの本格導入から2年半経ちましたが、関連会社が約90拠点に一斉導入したケースもあり、グループ内に確実に浸透し定着しました。社内の会議室や打ち合わせスペースからは、毎日PJP-25URから出る声が聞こえてきます。コスト削減や業務コミュニケーションの革新効果はすでに実証されていますので、今後は社外のパートナーとの接続や、社内内の線との接続など、より高度な運用も検討していく予定です。(稲垣様)



三洋電機株式会社
ITシステム本部ITサービス部
コミュニケーションサービスチーム
GIMサービス管理者 古谷善徳 様

三洋電機様のGIMサービスの概要

在席情報管理、インスタントメッセージ、ファイル送信、音声通話、データやアプリケーションの共有など、多彩な機能で業務革新を支援!

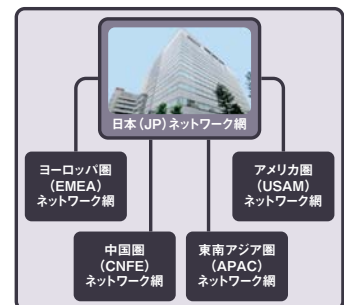
- 三洋電機様のGIMサービスは、マイクロソフト社のOffice Communication Server 2007と2つのアプリケーション(Office Communicator 2007、Live Meeting 2007)を活用しています。同社のグループウェアはもともExchange Serverが採用されており、それとのシームレスな連携を図るためにマイクロソフト社の製品を採用しました。
- 同社のグローバルネットワークは、日本を中心に、アメリカ圏、ヨーロッパ圏、中国圏、東南アジア圏に及んでおり、すべての地域からGIMサービスを利用することができます。
- GIMサービスの機能は以下のようなものであり、同社の業務革新に大きく貢献しています。
 - 1.相手の状態(オンライン/退席中など)が画面上でわかり、的確な連絡手段が選べる。
 - 2.出張せずに自席で、資料を共有しながらオンライン会議ができる。
 - 3.複数拠点から会議に参加でき、情報共有が円滑になる。
 - 4.初期費用が発生せず、毎月定額のサービス料だけで利用できる。
 - 5.海外拠点とも気軽にオンライン会議ができる。



撮影時に使用したマイクスピーカーは、より小さく、よりシンプルなPJP-20UR。



三洋電機様のグローバルネットワーク



PJP-25URの特長

①小型・軽量で持ち運びが簡単

PJP-25URはB5ノードにすっぽり隠れるサイズで、重さも570グラム。持ち運びが容易で、様々な場所から手軽にWeb会議に参加できます。

②可動式マイクアームで、多彩な使い方

マイクアームを動かし取音範囲を変更することで、様々なシチュエーションに対応。1~4人程度であれば、着座位置に合わせた使用が可能です。

③ACコード要らずのUSBバスパワー

USBケーブルでPCと接続するだけで、Web会議用マイクスピーカーとして使用可能。シンプルな接続で、使い勝手の良さも抜群です。



PJP-25URの概要

- 寸法 / 229(幅)×152(奥行)×34(高さ)mm ●重量 / 570g ●電源 / USBバスパワー駆動、セルフパワー駆動(ACアダプタ別売) ●用途 / 会議用マイクスピーカー
- 音声インターフェース / USB2.0 Full Speed、アナログ入出力各1系統(ステレオミニジャック) ●周波数帯域 / 300~20000Hz(ステレオ再生時)
- 本体スピーカー / 2個、モノラル再生、ステレオ再生(スピーカーのみ使用時) ●本体マイク / アレイマイク(4個*3列)
- その他機能 / 適応型エコーキャンセラー、マイクアレイ制御、スピーカーステレオ再生、ファームウェアリビジョンアップ(PCよりUSBで転送)

本書に記載されている企業名、製品名は、一般に各社の登録商標または商標です。



安全に関するご注意

●本製品の設置、ご使用に関しましては取扱説明書などに記載されている注意事項や禁止事項をよくお読みの上、必ずお守りください。



感動を・ともに・創る

プロジェクトフォンお客様相談センター

■お電話によるお問い合わせ先 ☎053-460-2822 ■FAXによるお問い合わせ先 ☎053-460-2829

ご相談受付時間 9:00~12:00 13:00~17:00(土・日・祝日、弊社定休日、年末年始は休業とさせていただきます。)

◎会議システム プロジェクトフォンの最新情報はこちら <http://www.yamaha.co.jp/projectphone/>

このパンフレットは
無塩素漂白
(ECP)パルプを
エコルーフ
を使用しています。



このパンフレットは再生紙と大豆油インクを使用しています。